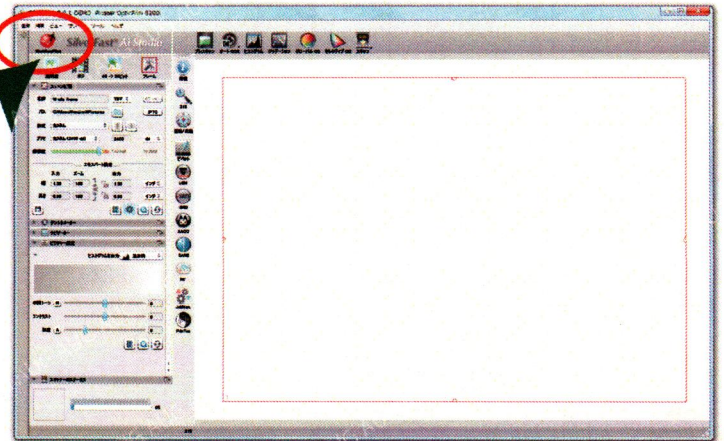
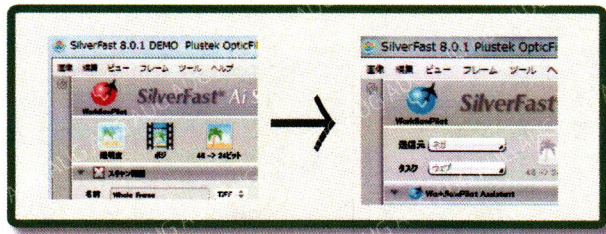


■「SilverFast」を簡単に使う WorkflowPilot (ワークフローパイロット) 簡易マニュアル

SilverFast 8 では、スキャン作業を簡単に行える「WorkflowPilot」機能をお使いいただけます。

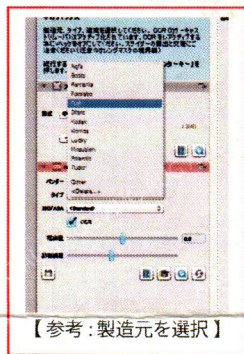
WorkflowPilot 【0】準備：WorkflowPilot を ON (青色) にする

SilverFast 操作画面左上に赤い玉「WorkflowPilot」のボタンがあります。クリックすることで、有効になります。



【1】プレスキャン…事前のスキャンング

プレスキャンが始まり、フィルムを暫定的に読みに行きます。フィルムのネガ or ポジをここで設定します。



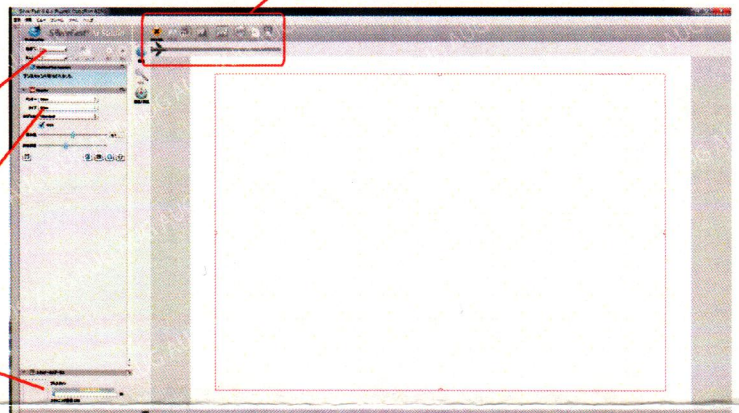
【参考：製造元を選択】

プルダウンにて、スキャンするフィルムがポジか、ネガかを選択。

フィルムの製造元 (ベンダー名) や、商品名などを入力することで、より正確なスキャンングデータを取得できます。

個々の操作画面における進捗状況が表示されます。

この飛行機のイラストが右に進むことで、進捗状況が目視で確認できます。



【2】解像度

プレスキャンが終了すると、仮データが表示されます。

WorkflowPilot 作業終了後に取得できるデータの大きさ (解像度) を調整、選択できます。

スキャン範囲を選択できます。
《極小/小/中/大/極大》

全ての設定が終了したら、「進む」をクリック



赤いフレームが本スキャン時に適用される範囲となります。マウスで動かし、適切なエリアを決めます。

【3】オート



※本書面は、メーカー公式の物ではありません。
文章中の表現は主観が含まれている場合がございます。内容に間違いや不備があった場合、逐次修正して参ります。
OpticFilm8200iAI を使用しての説明の為、OpticFilm8100 とはお使いいただける機能や見え方が異なる場合がございます。

【4】ヒストグラム

画像の「ヒストグラム」(シャドウ、ハイライト、中間色のポイント)を画面左の図から設定できます。

グラフを手動で動かすことにより、シャドウ、ハイライト、中間色を設定・調整することができます。



【5】グラデーション

画像の「グラデーション」(中間色、コントラスト)を画面左のスライダー(折れ線)から設定できます。

グラフを手動で動かすことにより、グラデーション(中間色、コントラスト)を設定・調整することができます。



【6】iSRD (赤外線ゴミチェック機能) ※本機能は OpticFilm8200iAI のみ対応しております

フィルム上のキズ、ゴミにより影響を受けた画像の自動補正を行います。

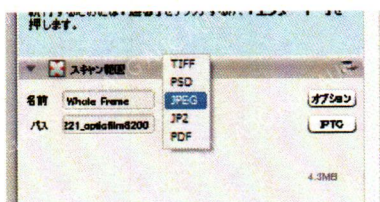
グラフを手動で動かすことにより、グラデーション(中間色、コントラスト)を設定・調整することができます。



【7】データー

ここまでの作業をデーター化させるにあたり、ファイルデーターの名前、データーの置き場所や、ファイル形式を決めます。

グラフを手動で動かすことにより、グラデーション(中間色、コントラスト)を設定・調整することができます。



【ファイル形式を決める】

